

創域理工学研究科 社会基盤工学専攻

人材養成等に関する目的

社会基盤工学専攻は、基礎知識を備えた適応性・発展性に富む技術者、倫理観・環境観を備えた自立できる土木技術者、実行力を備えた信頼される土木技術者としての要件をすべて満たし、そのうち1つが特に卓越している土木技術者を育成する。

カリキュラム・ポリシー(抜粋)

1. 修士課程においては、学士課程で養った教養、基礎学力、専門知識を基礎として、さらに「専門科目」「教養科目」「研究指導」により、社会基盤工学専攻が定める目的を実現するための教育課程を編成する。
 (1)「専門科目」では、より高度な専門的知識を身に付けるために、講義科目を重点的・効果的に配置する。
 (2)「教養科目」では、幅広くかつ深い学識を涵養する授業科目、コミュニケーション能力・倫理観・国際性等を養う授業科目を配置する。
 (3)研究指導の過程では、国内外の文献の調査、指導教員等研究者との議論、国内外の学会等での発表、学術論文の発表等を行うことを通して、自身の研究成果を正確かつ効果的に表現する力、専門性を要する研究開発力、課題解決力、倫理観および国際的視野を高め、研究者または高度職業人として国内外で活躍できる能力を育成する教育を行う。

